

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
472085_浦添市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	教室の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により開設教室数は減少傾向にあった。令和5年度は教室数が増加し、合計20教室が開設できたが、第5次浦添市総合計画における目標値(28教室)には及ばず、コロナ禍前の教室数にも及ばないため、開設教室数を増やすことが課題である。	自治会長会における事業説明の実施及び教室開設の募集。学校への余裕教室状況の確認および利用相談。SNS・広報誌等を活用した広報活動。	自治会やPTA等の地域団体を直接訪問し、事業説明や教室開設の募集を行う。コーディネート機能の充実(ボランティア人材と子どもと活動場所のマッチングを行ったり、余裕教室や児童センター等の活動場所を確保したりする)。SNS・広報誌等を活用した広報活動。	開設教室数を増やすことで、より多くの子どもの放課後等における多様な体験活動を充実させる。 目標値:28教室を開設する。(第5次浦添市総合計画における令和7年度の目標値)	開設教室数	20	教室	23	21	令和6年度の実績値は現状値と比較し1教室の増加となったが、新規開設が3教室、余裕教室の減少等を理由とした閉設が2教室という内訳となっているため、3教室増加という結果からは、本市の取組により一定の効果が得られていると考える。余裕教室の減少については、地域人口や学校運営方針等の多様な要因が考えられるが、学校との連携協力体制をより強化することで、本事業への理解促進を図り、可能な限り余裕教室を確保できるよう努めていく必要がある。